

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中野市立図書館開館30周年記念事業	
事業主体 (連絡先)	中野市立図書館開館30周年記念事業実行委員会 中野市大字西条1000番地 中野市立図書館内	
事業区分	(3) 教育、文化の振興	
事業タイプ	ソフト	
総事業費	762,341円 (うち支援金 :	562,000円)

事業内容

中野市立図書館は現在の場所に平成5年6月に開館し、令和5年度には開館30周年の節目を迎える。そこで各種記念事業を実施することにより賑わいを創出し、より多くの方が図書館を訪れ利用されることにより、心豊かな生活を楽しむための生涯学習の場となるよう取り組むものとする。

- ・わたしと図書館の募集
- ・開館30周年記念「こどものとしょかんまつり」
- ・kumoriをつくろう
- ・開館30周年記念講演会「ものがたりライブ&講演会」
- ・現代枕草子を編む ・ビブリオバトル in なかの
- ・開館30周年記念「図書館まつり」 ・30周年感謝祭
- ・図書館のあゆみ及び図書館ボランティア団体展示



【30周年記念講演会の様子】

【目標・ねらい】

- ① 入館者数の増加
- ② 貸出冊数の増加
- ③ デジとしよ信州の登録者数の増加

事業効果

- ① 人口減少等で入館者数が減少している中、令和5年度の入館者数は12月末現在ですでに83,548人となり、目標である3年度の入館者数75,562人を上回った。5年度末には10万人を超える見込みである。
- ② 人口減少等で貸出冊数が減少している中、令和5年度の貸出冊数は12月末現在で107,753冊で、年度末には14万冊に達し、目標である3年度の貸出冊数132,510冊を上回る見込みである。
- ③ 令和4年度から開始した「デジとしよ信州(市町村と県による協働電子図書館)」の登録者数は、令和5年12月末現在で250人となり、1月5日現在193人より57人(30%)増加した。ただし目標である2倍には達せず、5年度末でも達しない見込みである。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・入館者数が目標よりも12月末現在ですでに11%増加。
- ・貸出冊数が目標よりも年度末で数%増加見込み。
- ・デジとしよ信州の登録者数は増加したものの、目標には達していない。

今後の取り組み

今後もより多くの方が図書館を訪れ利用していただくために、次の事業を令和6年度以降も継続して実施し、心豊かな生活を楽しむための生涯学習の場となるよう取り組む。

- ・こどものとしょかんまつり
- ・kumoriをつくろう
- ・ものがたりライブ
- ・文学講座
- ・ビブリオバトル
- ・図書館まつり

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある